

15

ニキビについて

医療の
小ネタ

正式な病名としては尋常性挫創です。

まともに書くと53画もあるので、ここでは9画で済むニキビで通しましょう。恐らく誰もが一度は悩んだことのある一般的な病気ですが、これでなかなか厄介な所があります。なぜならばそれぞれの体質によって、治り方が大きく異なるからです。



ニキビの原因は割と単純で、皮脂の過剰分泌、毛穴の塞がり、ニキビ菌の増殖の3つです。皮脂分泌はホルモンの影響で思春期が最も多いのですが、毛穴に溜まらなければ問題ありません。ところが皮膚の新陳代謝が旺盛で、表皮の一番外側にある角質層が増生すると、それが毛穴の上に伸びてきて穴を塞いでしまい、毛穴の中に皮脂の塊が残ります（面皰）。ニキビ菌は皮脂が大好物ですから、ご馳走付きの毛穴に入ると、その中で大増殖します（膿皰）。

ニキビが赤く盛り上がっているとか、皮膚の表面から膿が透けて見えるようなときは、内服の抗生剤を処方します。ニキビは経過が長いので、安全のために小児に使える量のドキシサイクリンを連用します。通常ニキビ治療の第1段階は2～3週間で通り過ぎることが出来ます。

第2段階になると、角質増生を抑える薬や、ニキビの出来難い皮膚に変えていく薬を使いますが、いずれのステージでも重要なのは「洗顔」です。とくに重要なのは泡の大きさと、小さければ小さいほど良いと覚えておいてください。洗い過ぎは皮膚の乾燥の原因となりますので、1日2回くらいまでに留め、保湿などのスキンケアを心がけてください。

ついでの話ですが、ニキビ菌の *Propionibacterium acnes* には妙な因縁があります。いずれまた、字数に余裕のある時にお話しします。